

事務事業名	子ども会育成会連絡協議会活動支援事業		担当	教育委員会 生涯学習課 青少年係	
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～	施策名	5	青少年の健全育成
成果指標	名称		単位	6 年度実績	
	補助金額		千円	577	
	会議開催数		回	4	
	事業数		回	3	
事業概要	市内子ども会育成会相互の連絡研修及び、子ども会運営上の諸問題について調査研究し子どもの健全育成を図ることを目的に設立された。 真岡・山前・大内・中村・二宮の各育成会連絡協議会で組織され市内106単位子ども会育成会と連携し、学校や地域との協力体制の充実を図る。 主な事業として、産業祭に合わせて行われる子どもまつり、親子ふれあい鑑賞会等を開催している。				
6 年度 実績・成果・課題	令和6年度実績 ・総会(1回) ・役員会(3回) - 事務局としての会計、補助金交付、定期総会や役員会議の資料作成を行った。 ・子どもまつりの開催(1回)(各地子連による模擬店出店、バザー、音の遊びコーナーなど) ・真岡市PTA連絡協議会・真岡市子ども会育成会連絡協議会合同研修会(真岡市男女共同参画人権ミニフェスティバル)開催(1回) ・親子ふれあい鑑賞会の開催(1回) 子どもの数が少なくなっており、単位子ども会の活動がなかなかできない状況となっている。 昨年度に引き続き、親子ふれあい鑑賞会を実施したが、親子で人形芝居を楽しむことができ好評であった。 今後、実施方法を含め子ども会の在り方についてが課題である。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 【具体的な改善案】 子どもまつり、各地区のリーダーキャンプなど多くの子ども会会員に参加してもらえるよう開催方法や周知方法などを各地区の役員や担当と連携を図り検討して行く また、令和6年度から各地区からの役員選出人数を5人から3人に削減し、保護者の負担軽減を図った。 コロナ禍前に実施していた親子ふれあい映画会の代わりに親子ふれあい鑑賞会(人形劇)を実施し、好評だったため、今後についても鑑賞会として実施していく。				